

# ハード×ソフトの「ギャップ萌え」防災

空き家を、その土地の真上に移築します！

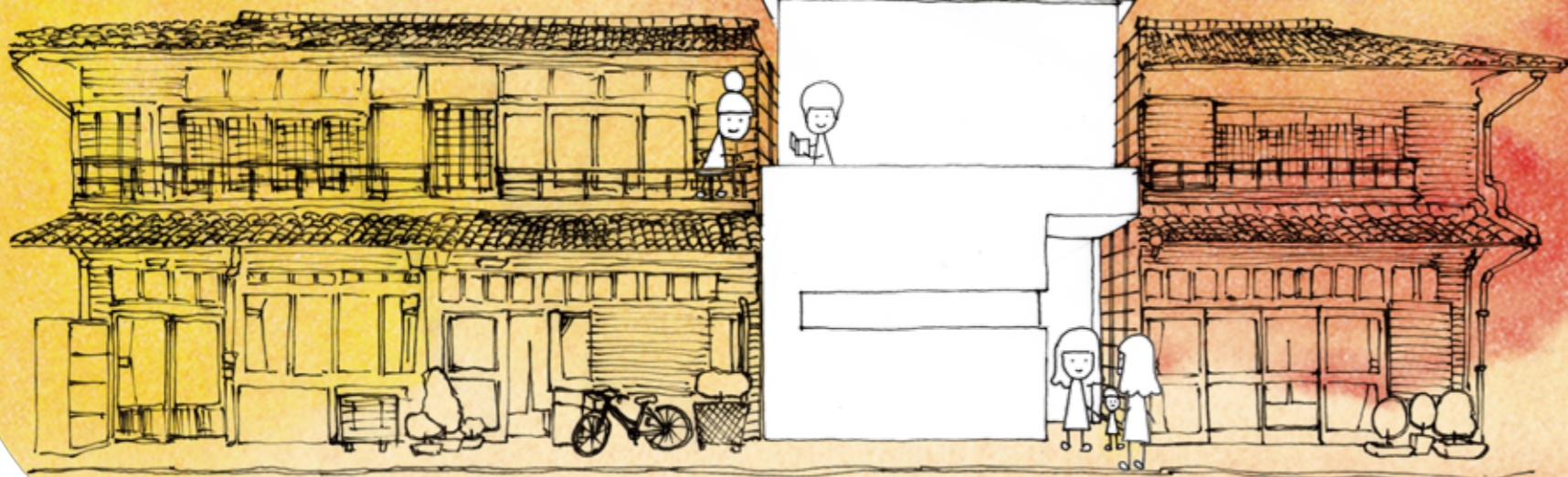
もともとあった土地と建物のコンテクストはそのままに、

耐火性・耐震性の高いハード

×

新旧異なる空間の「ギャップ萌え」から生まれる  
ソフト（コミュニティー）

で防災する新しいリノベーションの提案です。



「ギャップ萌え」・・・  
異なる特徴を持ち合わせた二面性や  
意外性によってもたらされる萌えの  
ことである。

## 防災ダイアグラム

所在地：  
福岡県福岡市博多区

周辺環境：  
高層マンションや新築住宅の狭間に  
取り残されたようにたたずむ長屋。  
4軒が並ぶうちの中央1軒の空き家  
をリノベーションする。

元の用途：住宅

**ハードの防災** 耐火・耐震材というハードで火災の連鎖を食い止め、長屋を守る！



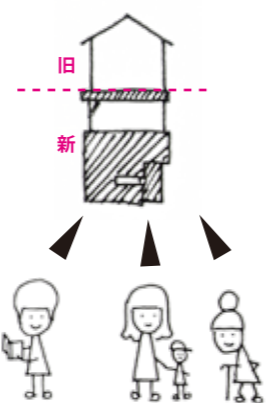
木密地域



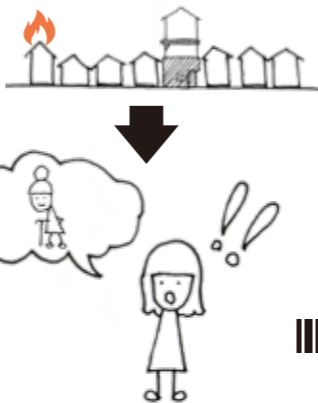
木密に耐火性・耐震性の高い土台を挿入し、空き家を真上に移築

**ソフトの防災** 昔ながらのつながりを維持しつつ、「ギャップ萌え」によって新しいコミュニティーを形成！  
迅速な連絡による防災を行う！

「ギャップ萌え」で人を集める



災害発生時



長屋以外の住民も巻き込んでコミュニティーを形成



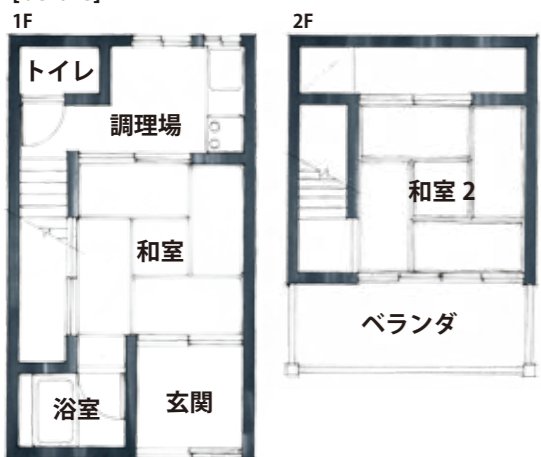
図書館を利用する学生 若いお母さん 長屋のおばあちゃん 「長屋のおばあちゃん足が悪かったわ！」

迅速な連絡により防災

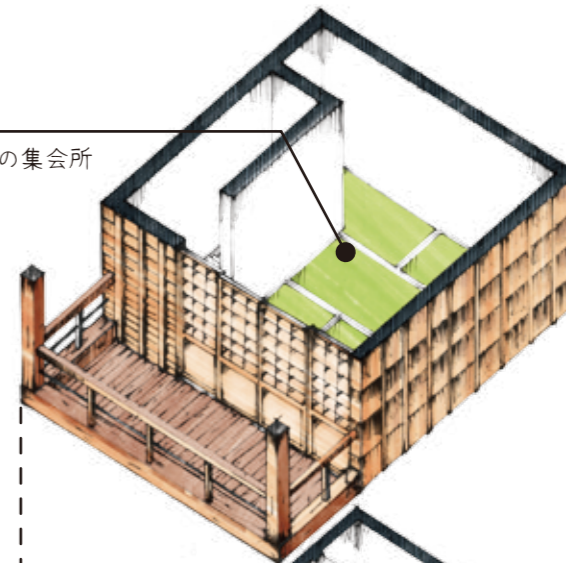
## 選定場所



[before]

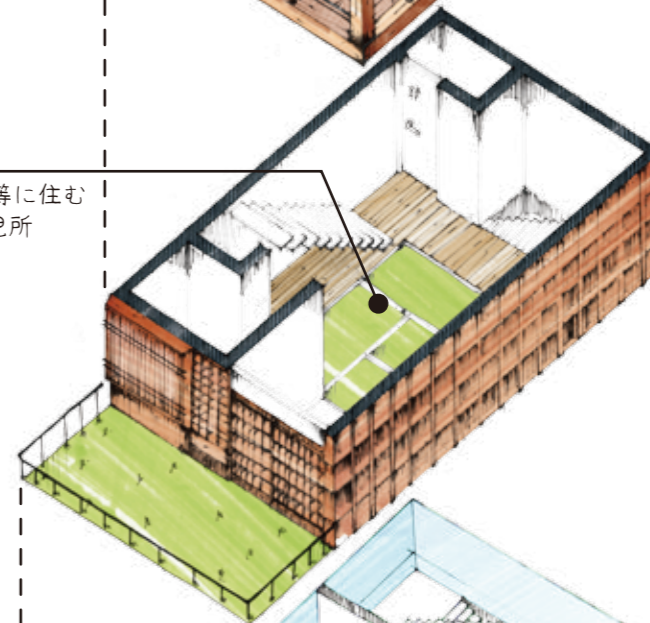


集会室  
昔なじみの長屋の住人たちの集会所



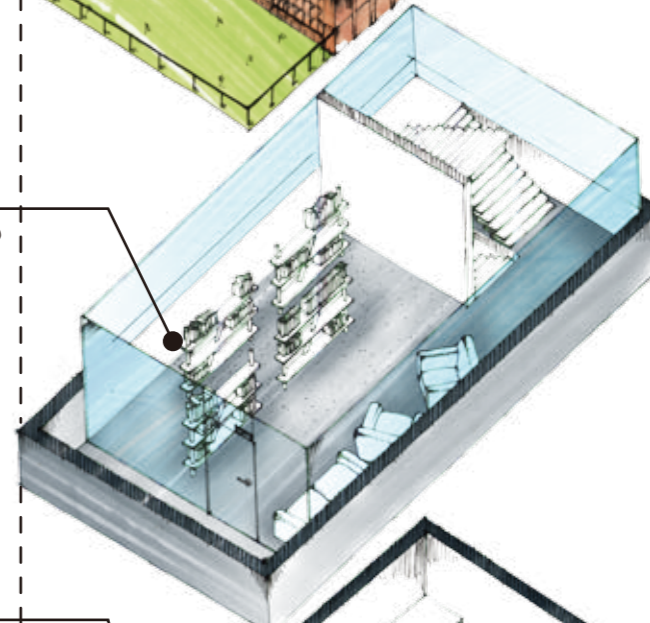
4F (元 2F)

託児所  
近隣のマンション等に住む  
若い夫婦向けの託児所



3F (元 1F)

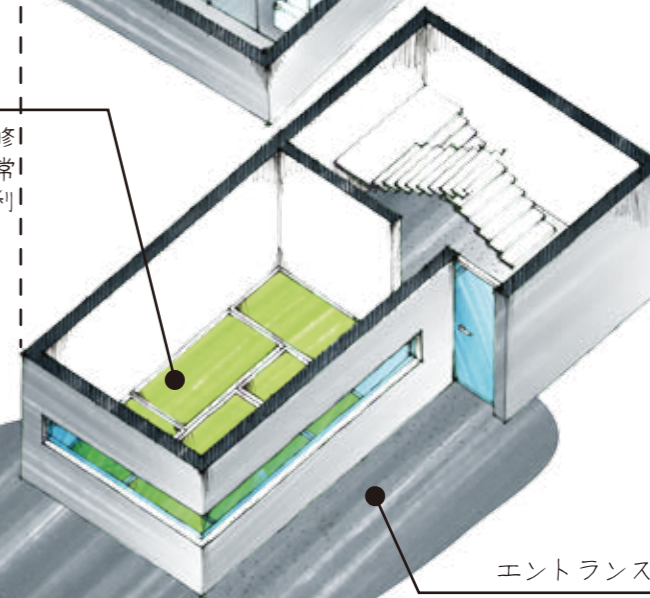
図書館  
近隣住民のための  
小さな図書館



2F

研修室（避難所）

普段は公民館の研修室の役割だが、非常時は避難所として利用できる



1F

エントランス  
入り口となる路地をつくる